

行事報告書

行事名	「川西市立明峰小学校自然体験環境学習」準備リハーサル
実施日時	平成 24 年 8 月 10 日（金）10 時 00 分～13 時 45 分 天候；晴れ
活動場所	川西市小花 2 丁目：猪名川 [せせらぎの水辺] 集合：阪急川西能勢口 徒歩 猪名川ドラゴンランド公園
参加人員	環境科 男性 10 名（飯盛、石井、一ノ瀬、加藤、北仲、衣本 田中晃、樋口、平山、前中） 女性 5 名（井上加、奥野、鹿喰、三戸、村瀬） 他 男性 1 名、女性 5 名 合計 21 名
活動内容	9 月 6 日（水）実施予定の明峰小学校 3 年生環境教育支援活動の準備及びリハーサル
活動状況 1．スケジュール 2．注意事項 3．水生生物捕獲 4．生物同定	猪名川河川敷に人工的に整備され、上流の堰から水を流入させている「せせらぎの水辺」と呼ばれる幅 5～8m、深さ 30cm の小川で実際に川に入り、水生生物を捕獲し、同定作業を行った。人工とは言っても水辺に植物が繁茂し、流速、深ささも適当で水生生物の絶好の棲みかとなっている。約 30 分間の捕獲作業であったが、約 22 種の生物を捕獲した。本番は小学校 3 年生が対象なので、同定のレベルはそれほど詳しくなくとも良いが、大きな区分はその場で答えられる必要があるということで、本日のリハーサルとなった。 最終の同定は全体で、水生生物に詳しいスタッフが行き、同定不能の種は後日博物館等で調べて連絡するというようにした。水生生物調査は経験の少ない参加者も多かったが、まず経験を重ね、知識を深め、楽しむことを目的とする人が多かった。本番参加者は生徒 150 名、スタッフ 30 名の多人数となるため、生徒と自身の安全確認が最重要（特に熱中症）ということと、生徒全員が捕獲出来るよう指導、支援のお願いと説明が村瀬総括リーダーからあった。生物の棲息しやすい草かけ、石の裏側に注意するよう具体的な指導も受けた。同定の参考資料として生徒に配布される「猪名川水質調査ハンドブック」が我々にも全員に配布された。最低限の知識として予習する必要があると感じた。
まとめ	子どもと一緒に自然と触れ合うときは、「何かを教えるのではなく、いっしょに楽しむこと、感激や神秘を子どもといっしょに再発見し、感動を分かち合うことが必要」と言われている。指導するのではなく、見落としている小さな美しさや、「わくわくしながら」何か潜んでいそうなところに誘導するというを基本にすることを確認し、当日の役割分担の確認と意見交換を行い本日の行事を終えた。 9 月 6 日本番は雨天決行、警報発令等で中止の場合は連絡がある。



リーダーより説明と注意事項



水辺のせせらぎで捕獲作業



捕獲した水生生物の同定作業



本日一番の大物 ギギ



オイカワの幼魚



スジシマドジョウ



スジエビ



右巻のモノアライガイと左巻のサカマキガイ



収穫はバットへ



打合せは高速道路下の日陰で



作業後の確認打合せ

写真：北仲 、 報告文：石井